

所 属	都市建築部 水道企業課		
担当(係)名	県営水道担当	内線	2495

新 県営水道における緊急時バックアップ管整備方針の作成

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
4,150	内部留保金 4,150	委託費 4,150
(前年度 0)		

2 背景・現状

現在の県営水道の管路は敷設して30年以上経過し（法定耐用年数は40年）、今後、破断・漏水の危険度が高まってくる。しかし、管路の更新を進めるには、現在の管路は単線となっていることから、断水を避けて実施することが困難である。

3 事業目的

送水量の多い管路（幹線管路）を対象に、緊急時バックアップ管整備（管路の二重化）を進める。

4 事業概要

緊急時バックアップ管事業を効率的・効果的に進めるため、平成22年度までに、整備方針（二重化する管路の範囲、配管ルート等の検討、年次別整備計画等）の作成を行う。

【緊急時バックアップ管事業のイメージ図】



水道事業会計

東部広域水道緊急時バックアップ管事業